



五木東小 第29号

学校便り
文責
生田 文明

給食に感謝して



給食週間の取組



給食の意義や役割について子どもたちが知り、関心をさらに高めるために、全国学校給食週間（二十日～二十四日）期間中に、①給食に関する講話、②生産者・調理の先生への感謝会、③給食集会、④給食標語作りを行いました。

①では、給食の歴史について栄養教諭から、また、校長からは、子どもたちのころや、教職に就いてから食べてきた給食と食器の移り変わりについての体験談がありました。

②では、米、野菜、鹿肉、豆腐等、地元の食材を提供してくださる生産者の方、販売所の方との会食会を行いました。会食会では、野菜栽培のこと、食材の管理・輸送のこと、食品加工のことについて、直接生産者の方からお話を伺うことができ、給食への感謝の気持ちがさらに大きく膨らみました。



What would you like ?

外国語活動

③では、好き嫌いなく食べることの大切さを、寸劇をとおして給食委員が全校児童に訴えました。にんじんマン、ヌードルマン等それぞれの役柄を見事に演じることができた発表でした。また、縦割り班対抗の豆つかみ大会も行いました。日頃の正しい箸使いの成果が試される絶好の機会となりました。思った以上に大豆、小豆を上手に取り分けすることができ、子どもたちの器用さに感心しました。

また④の標語づくりにもチャレンジして、給食への関心を高めることができました。

多くの方々の思いが一杯込められた給食、好き嫌いせず、感謝して、毎日いただきます。



二十二日（水）、外国語活動の授業研究会を実施しました。外国語活動は、平成二十三年四月からの新学習指導要領の全面实施により、五、六年生で、週一回実施しています。

外国語活動の目的は、①外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解すること。②外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てること。③外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませること。の三つです。



今回は、②の積極的なコミュニケーションを図るために担任とALT（外国語指導助手）との連携について授業をとおして研究を深めました。

授業中、みんなの前で英語を用い発表する場面では、自信が持てないためか、恥ずかしがって、堅くなっていました。

しかし、ペアで、「What would you like?」「I'd like～」とハンバーグなどの絵カードを使つてのやり取りでは、とても楽しくできました。抑揚を付けたり、ジェスチャーをしたりと、気持ちをよく表した上手な表現ができるようになりました。担任とALTの模範演技が効を奏したようです。

研究会では、ALTのパウエルさんにも同席してもらい、今後の連携の方策について協議することができました。

本校では、下学年でも、月一回のハローイングリッシュ（一、四年生）、社会教育係と連携した放課後子ども教室（一、二年生）での英語活動（週一回）を実施し、外国語にふれる機会をできるだけ多くしています。

今後、さらにALTとの連携を深め、外国語活動、英語活動を充実させていきたいと思っています。

そして、中学校へつなぎ、子どもたちにグローバルなコミュニケーション力を身につけさせていきます。

